

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	南部市民プラザ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	1
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 塩浜町7丁目135番地 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	5,071 m ² 1,905 m ²
----------------	-------------------------------	----------------	--

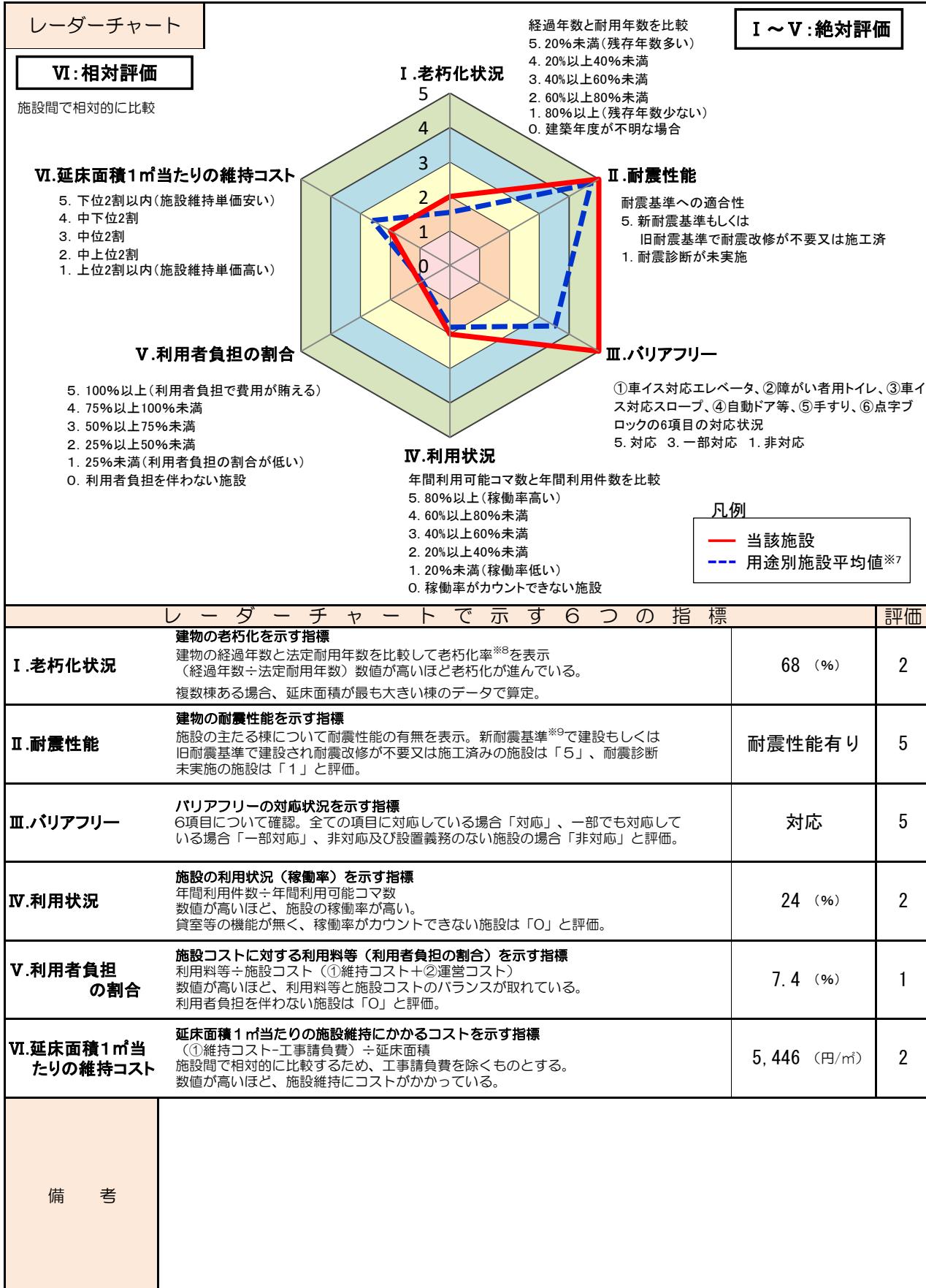
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	南部市民プラザ				
複合・併設施設	市民図書館南部分館				
建築年度	平成3年度	経過年数	34年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,564 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	35,679人	36,542人	36,931人	36,384人	直営	
収入		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
①維持コスト (R4~R6年度) (ファシリティコスト)		利用料等	2,823,373	支出	人件費	1,447,543
②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費		国費	-		修繕料	2,217,950
+ ③設備コスト 建物を良好に保つために要する経費		県費	-		火災保険料	30,514
+ ④運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費		その他	188,270		維持管理委託料	7,872,531
+ ⑤設備コスト 建物を良好に保つために要する経費		市費(一般財源)	35,115,676		敷地借上料	2,394,723
+ ⑥運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費		合計	38,127,319		工事請負費	8,948,139
+ ⑦設備コスト 建物を良好に保つために要する経費		施設外観			その他維持費	-
+ ⑧運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費					小計	22,911,400
+ ⑨設備コスト 建物を良好に保つために要する経費					人件費	5,790,173
+ ⑩運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費					光熱水費	5,824,117
+ ⑪設備コスト 建物を良好に保つために要する経費					その他委託料	-
+ ⑫運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費					その他運営費(事業費)	3,601,629
+ ⑬設備コスト 建物を良好に保つために要する経費					小計	15,215,919
+ ⑭運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費					合計(①+②)	38,127,319
+ ⑮設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ⑯運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ⑰設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ⑱運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ⑲設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ⑳運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉑設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉒運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉓設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉔運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉕設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉖運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉗設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉘運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉙設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉚運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉛設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉜運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉝設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉞運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						
+ ㉟設備コスト 建物を良好に保つために要する経費						
+ ㉟運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費						

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されて
いる)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	東部市民プラザ					
従たる施設の場合、主たる施設名	-					
大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号		
				2		
所管部局	高齢介護課					
1 土地データ						
所在地 (小学校地区)	碧南市 照光町5丁目3番地 (鶯塚小学校区)		敷地面積 うち借地面積	9,000 m ² 816 m ²		
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)						
構成棟	東部市民プラザ					
複合・併設施設	東部出張所、高齢者元気ッス館、東部児童センター					
建築年度	平成12年度	経過年数	25年	総取得費		
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	3,294 m ²	うち借用面積 - m ²		
階数(地上)	2階	階数(地下)	1階	避難所指定 指定避難所(随時)		
3 管理運営データ						
利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数		
	43,518人	49,098人	49,581人	47,399人		
施設コスト ^{※2} (R4~R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	4,240,573	支出	人件費	-
		国費	-		修繕料	4,082,571
		県費	-		火災保険料	280,825
		その他	346,870		維持管理委託料	28,886,415
		市費(一般財源)	84,322,984		敷地借上料	719,428
		合計	88,910,427		工事請負費	3,814,330
		施設外観			その他維持費	-
					小計	37,783,569
					①維持コスト	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	4,240,573	支出	人件費	18,880,619
		国費	-		修繕料	21,366,153
		県費	-		火災保険料	-
		その他	346,870		維持管理委託料	10,880,086
	市費(一般財源)	84,322,984		敷地借上料	51,126,858	
	合計	88,910,427		工事請負費		
				その他維持費		
				小計	合計(①+②)	88,910,427
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}			
		1,876円/人	26,992円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額 ^{※5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}			
		89円/人	1,169円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

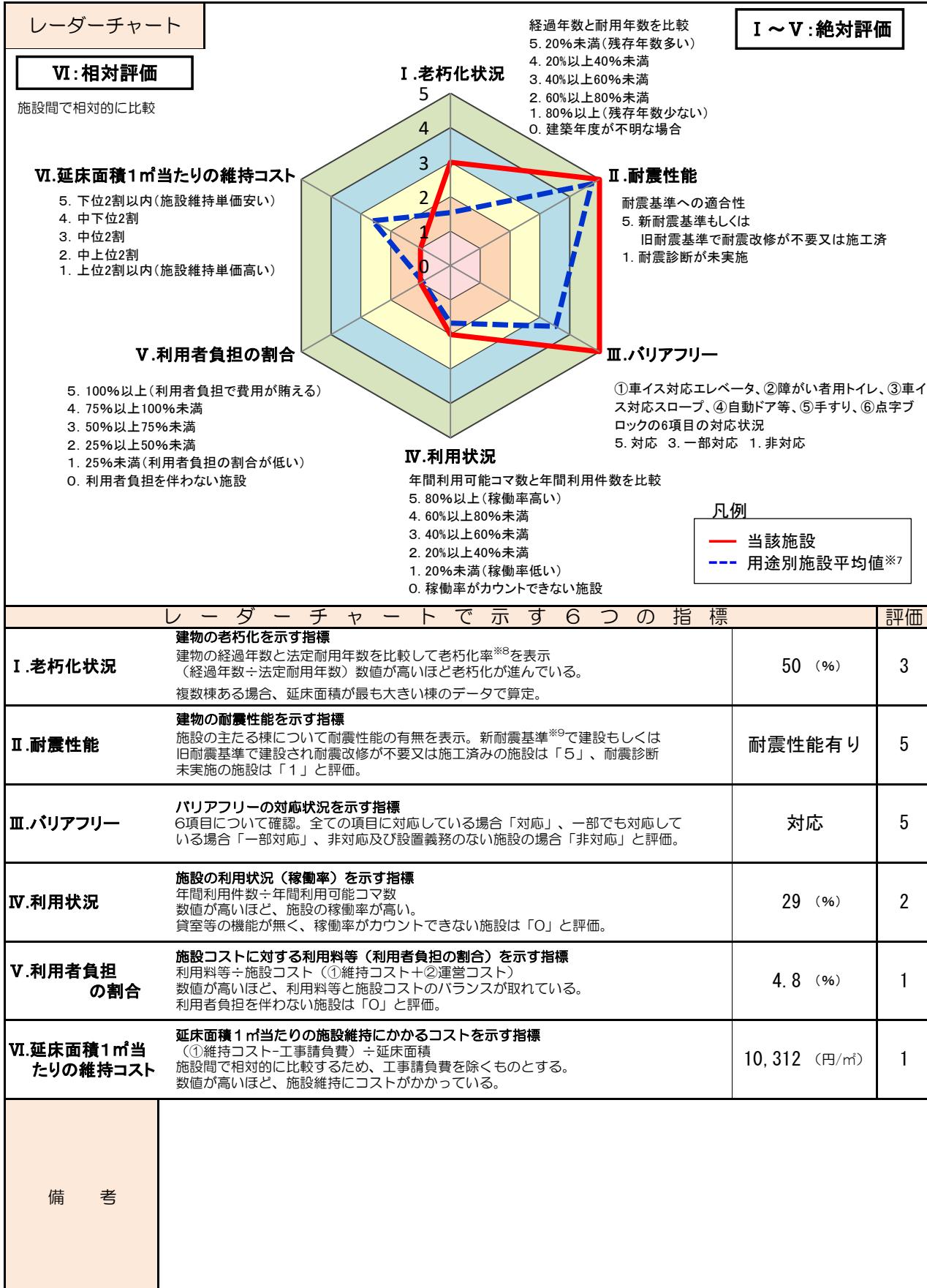
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	中央公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	文化会館		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	3
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 源氏神明町4番地 (中央小学校区)	敷地面積 うち借地面積	- m ² - m ²
----------------	----------------------------	----------------	--------------------------------------

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	中央公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和53 年度	経過年数	47 年	総取得費	359,048 千円
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	延床面積	2,659 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(随時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態		
	39,542 人	50,077 人	53,643 人	47,754 人	直営		
施設コスト※2 (R4~R6年度) (ファシリティコスト)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
		収入	利用料等	3,033,227	支出	人件費	-
			国費	-		修繕料	697,745
			県費	405,890		火災保険料	24,457
			その他	413,340		維持管理委託料	14,214,667
			市費(一般財源)	51,982,274		敷地借上料	1,020,647
		合計		55,834,731		工事請負費	2,735,022
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費		施設外観				その他維持費	-
+ ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費						小計	18,692,538
						人件費	21,713,150
						光熱水費	6,202,330
						その他委託料	3,305,981
						その他運営費(事業費)	5,920,732
						小計	37,142,193
						合計(①+②)	55,834,731
コスト状況		利用者1人当たりの施設コスト※3	延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4				
		1,169 円/人	20,998 円/m ²				
		利用者1人当たりの負担額※5	市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
		64 円/人	721 円/人				
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

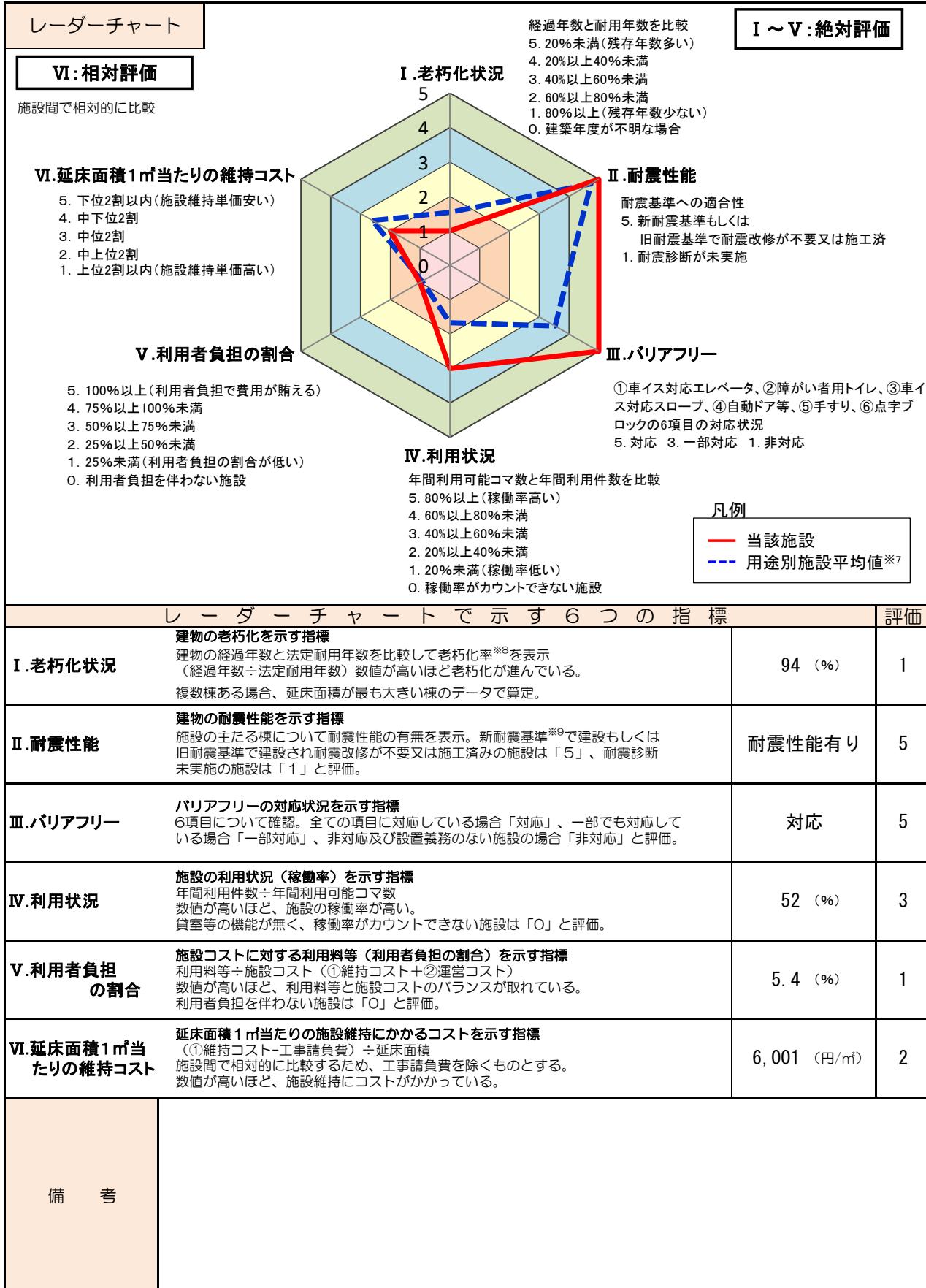
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	新川公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	4
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目1番地1 (新川小学校区)	敷地面積 うち借地面積	4,554 m ² - m ²
----------------	----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新川公民館、多目的トイレ				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和55～平成19年度	経過年数	18～45年	総取得費	83,877千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	577 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(随時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	27,091人	24,803人	23,907人	25,267人	直営
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		利用料等	979,084	人件費	2,171,315
		国費	-	修繕料	120,234
		県費	-	火災保険料	4,840
		その他	23,397	維持管理委託料	871,739
		市費(一般財源)	16,993,944	敷地借上料	-
		合計	17,996,425	工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費		施設外観		その他維持費	-
				小計	3,168,128
				①維持コスト	
				人件費	9,623,510
				光熱水費	1,300,520
				その他委託料	3,145,088
				その他運営費(事業費)	759,179
				小計	14,828,297
				合計(①+②)	17,996,425
コスト状況		利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4	
		712円/人		31,190円/m ²	
		利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6	
		39円/人		236円/人	
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

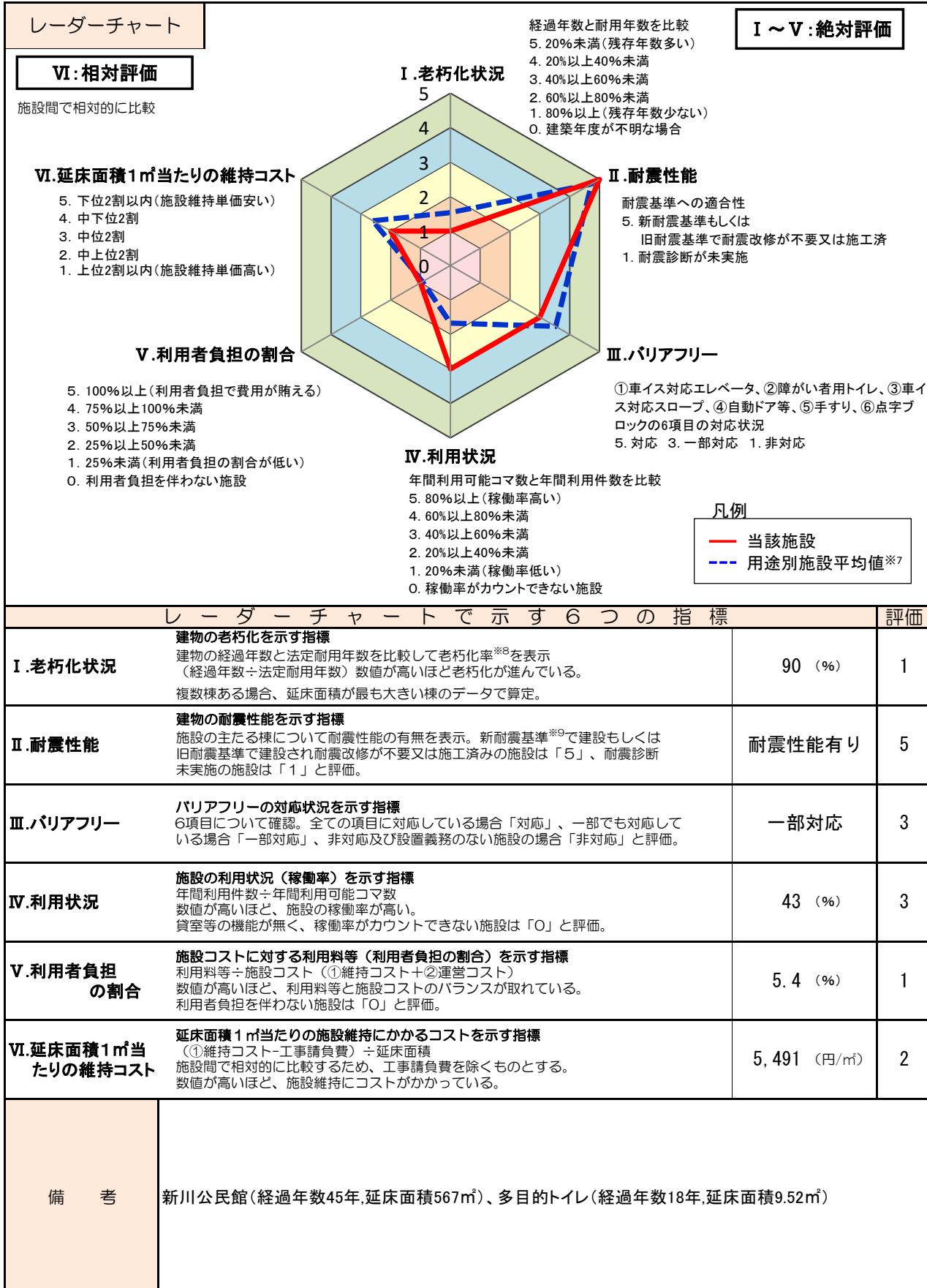
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されて
いる）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	中部公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	5
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 向陽町3丁目48番地 (中央小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,558 m ² - m ²
----------------	------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	中部公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和60 年度	経過年数	40 年	総取得費	267,827 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	534 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定避難所(随時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	17,044 人	19,691 人	18,306 人	18,347 人	直営
施設コスト※2 (R4~R6年度) (ファシリティコスト)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		利用料等	605,817	人件費	2,895,087
		国費	-	修繕料	413,681
		県費	-	火災保険料	6,317
		その他	27,487	維持管理委託料	877,973
		市費(一般財源)	19,912,756	敷地借上料	-
		合計	20,546,060	工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	施設外観		支		その他維持費
			小計		4,193,058
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費		①維持 コスト		人件費	11,580,347
		②運営 コスト		光熱水費	1,453,620
		①維持 コスト		その他委託料	2,676,088
		②運営 コスト		その他運営費(事業費)	642,947
		①維持 コスト		小計	16,353,002
		②運営 コスト		合計(①+②)	20,546,060
コスト状況		利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4	
		1,120 円/人		38,476 円/m ²	
		利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6	
		33 円/人		276 円/人	
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

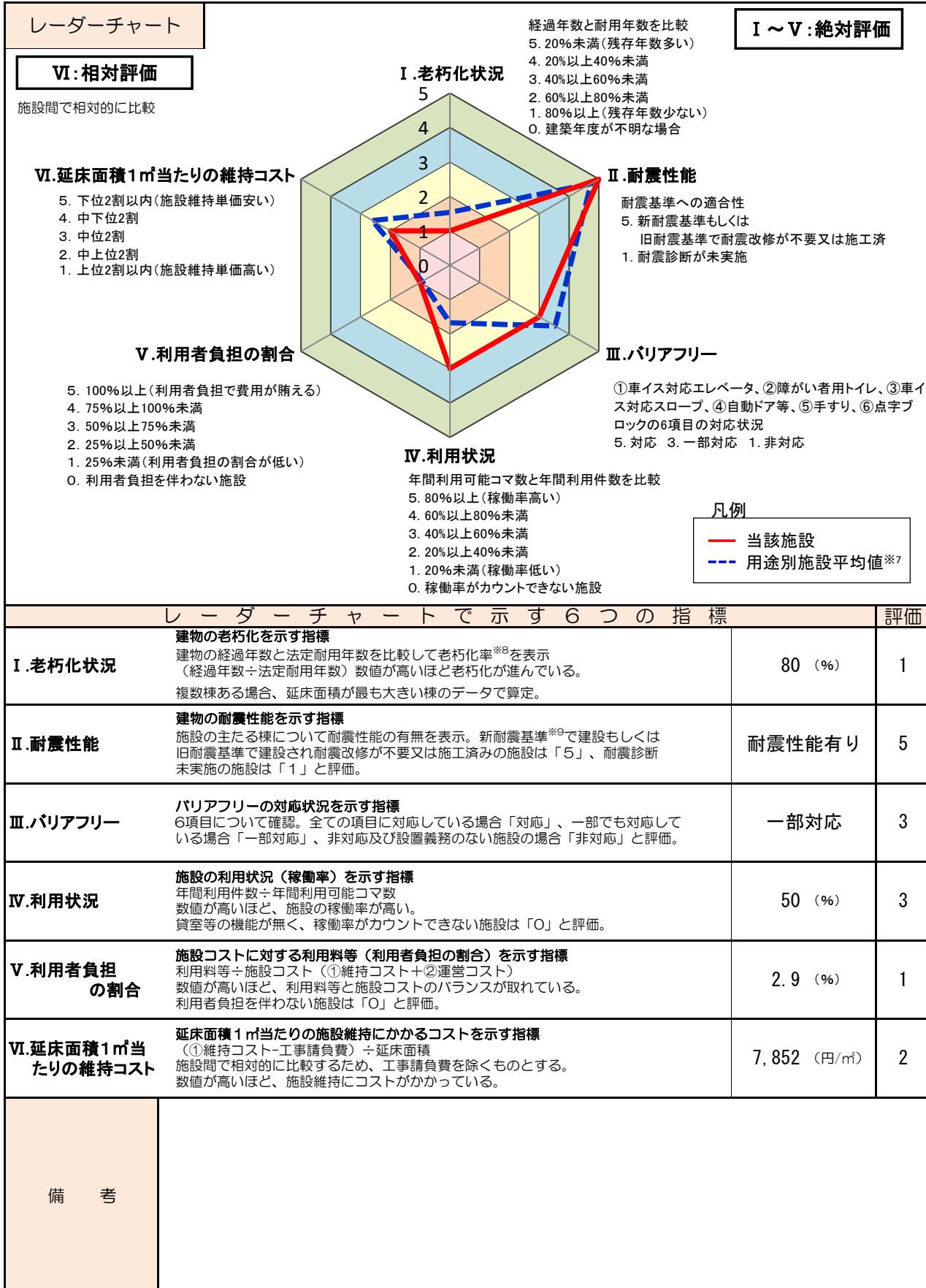
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	大浜公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	6
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 中町1丁目53番地 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,697 m ² 174 m ²
----------------	-----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	大浜公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56年度	経過年数	44年	総取得費	81,999千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	543 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(随時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	17,012人	18,539人	20,632人	18,728人	直営
施設コスト※2 (R4~R6年度) (ファシリティコスト)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		利用料等	578,751	人件費	2,895,087
		国費	-	修繕料	453,489
		県費	-	火災保険料	4,185
		その他	84,361	維持管理委託料	865,873
		市費(一般財源)	21,006,318	敷地借上料	221,315
		合計	21,669,430	工事請負費	1,063,333
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費		施設外観		その他維持費	-
				小計	5,503,282
				②運営コスト	
				人件費	11,580,347
				光熱水費	1,201,517
				その他委託料	2,611,097
				その他運営費(事業費)	773,187
				小計	16,166,148
				合計(①+②)	21,669,430
コスト状況		利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4	
		1,157円/人		39,907円/m ²	
		利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6	
		31円/人		291円/人	
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

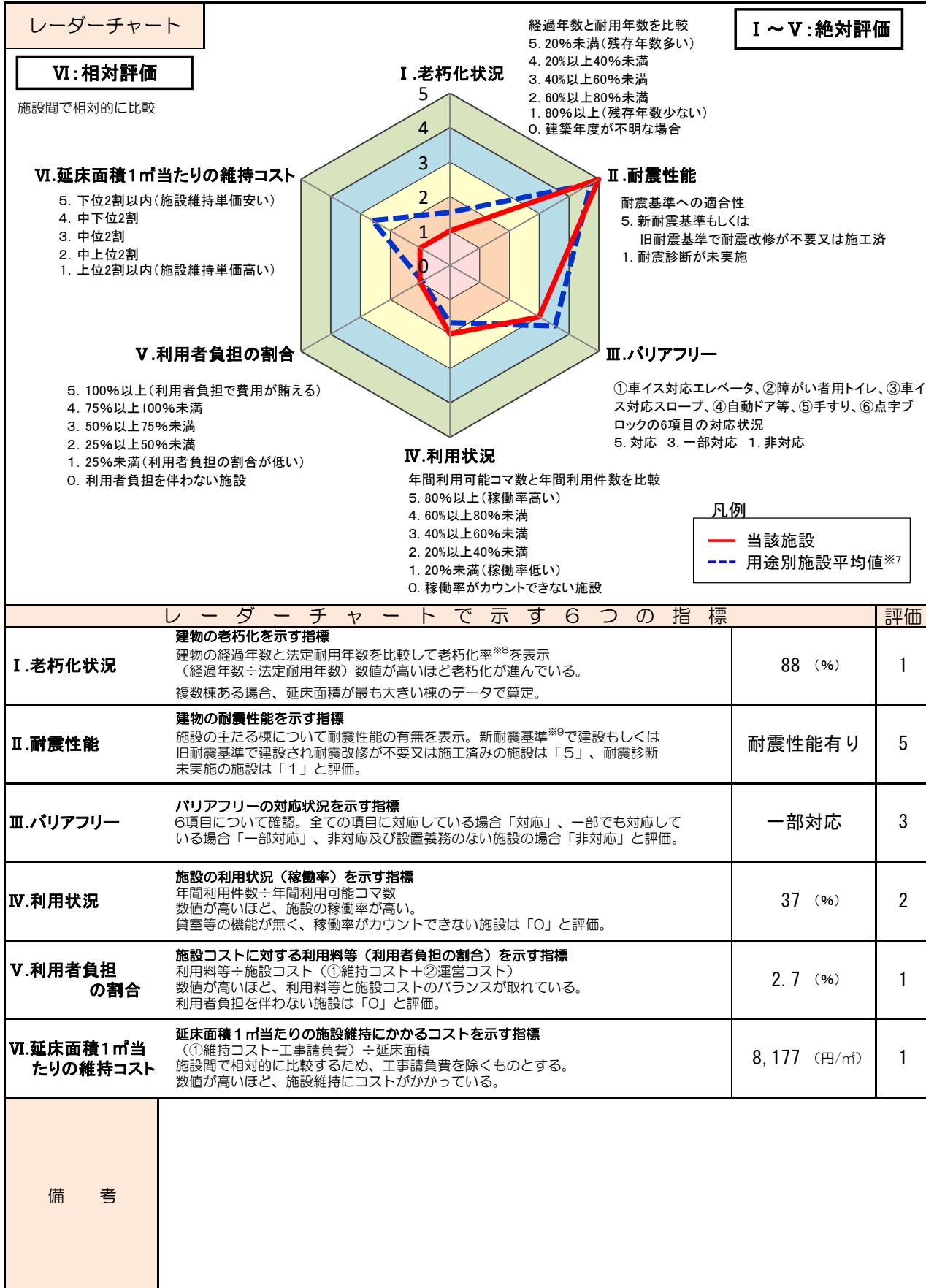
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	棚尾公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	7
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 汐田町2丁目28番地 (棚尾小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,961 m ² 406 m ²
----------------	------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	棚尾公民館				
複合・併設施設	棚尾児童センター				
建築年度	平成10年度	経過年数	27年	総取得費	667,666千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,622 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	4階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	30,974人	29,591人	30,929人	30,498人	直営	
内訳		金額(円)	内訳		金額(円)	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	利用料等	1,116,406	支 出	人件費	2,895,087	
	国費	-		修繕料	1,869,175	
	県費	-		火災保険料	25,839	
	その他	39,790		維持管理委託料	4,249,116	
	市費(一般財源)	32,000,065		敷地借上料	492,682	
	合計	33,156,261		工事請負費	2,493,333	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観			その他維持費	-	
				小計	12,025,232	
	内訳			人件費	11,580,347	
	収入	利用料等		光熱水費	5,666,960	
	利用料等	1,116,406		その他委託料	2,540,169	
	国費	-		その他運営費(事業費)	1,343,553	
	県費	-		小計	21,131,029	
	その他	39,790		合計(①+②)	33,156,261	
	市費(一般財源)	32,000,065				
	合計	33,156,261				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	1,087円/人		20,442円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	37円/人		444円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

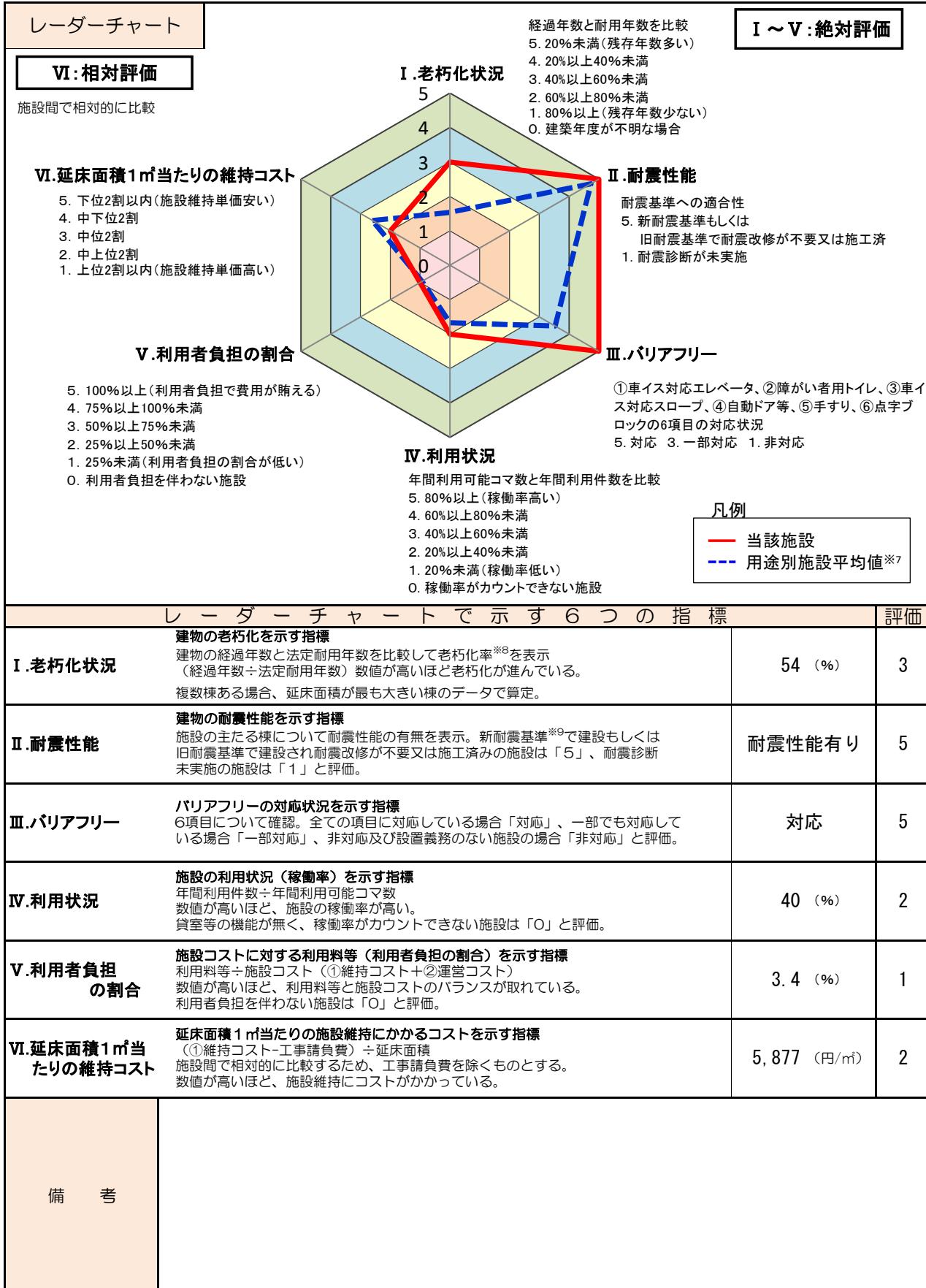
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されて
いる)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	日進公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	8
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 日進町2丁目92番地 (日進小学校区)	敷地面積 うち借地面積	2,318 m ² 628 m ²
----------------	----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	日進公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和58年度	経過年数	42年	総取得費	70,644千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	523 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	16,860人	16,870人	23,217人	18,982人	直営
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	499,403	支出	人件費	2,895,087
	国費	-		修繕料	315,329
	県費	-		火災保険料	4,999
	その他	29,213		維持管理委託料	865,103
	市費(一般財源)	20,220,815		敷地借上料	1,192,209
	合計	20,749,431		工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	施設外観			その他維持費	-
				小計	5,272,727
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		①維持コスト	人件費	11,580,347
	1,093円/人			光熱水費	1,023,466
	利用者1人当たりの負担額※5			その他委託料	2,085,796
	26円/人			その他運営費(事業費)	787,095
特記事項				小計	15,476,704
				合計(①+②)	20,749,431

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

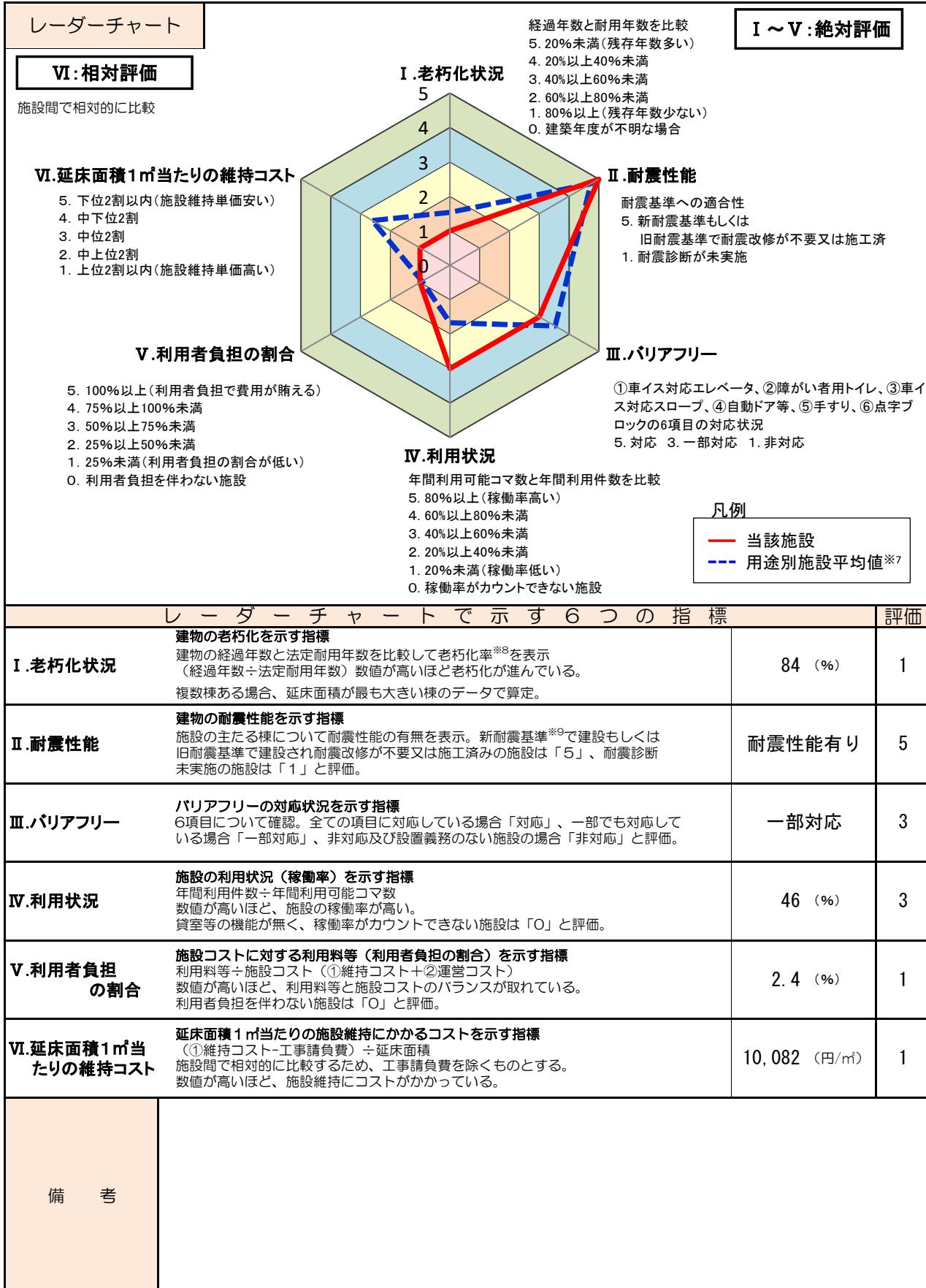
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	鷺塚公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	9
-----	---------	-----	------	------	---

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町2丁目66番地 (鶯塚小学校区)	敷地面積 うち借地面積	2,391 m ² 710 m ²
----------------	-----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	鷺塚公民館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和57年度	経過年数	43年	総取得費	101,590千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	521 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(随時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	15,682人	17,404人	16,956人	16,681人	直営
施設コスト※2 (R4~R6年度) (ファシリティコスト)		内訳	金額(円)	内訳	金額(円)
		利用料等	633,249	人件費	3,618,859
		国費	-	修繕料	99,577
		県費	-	火災保険料	4,913
		その他	37,223	維持管理委託料	855,239
		市費(一般財源)	19,236,377	敷地借上料	823,915
		合計	19,906,849	工事請負費	-
①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費		支	その他維持費	小計	5,402,503
		収入	人件費	9,878,494	
		支出	光熱水費	969,687	
		②運営コスト	その他委託料	2,820,422	
			その他運営費(事業費)	835,743	
			小計	14,504,346	
			合計(①+②)	19,906,849	
コスト状況		利用者1人当たりの施設コスト※3	延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
		1,193円/人	38,209円/m ²		
		利用者1人当たりの負担額※5	市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
		38円/人	267円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

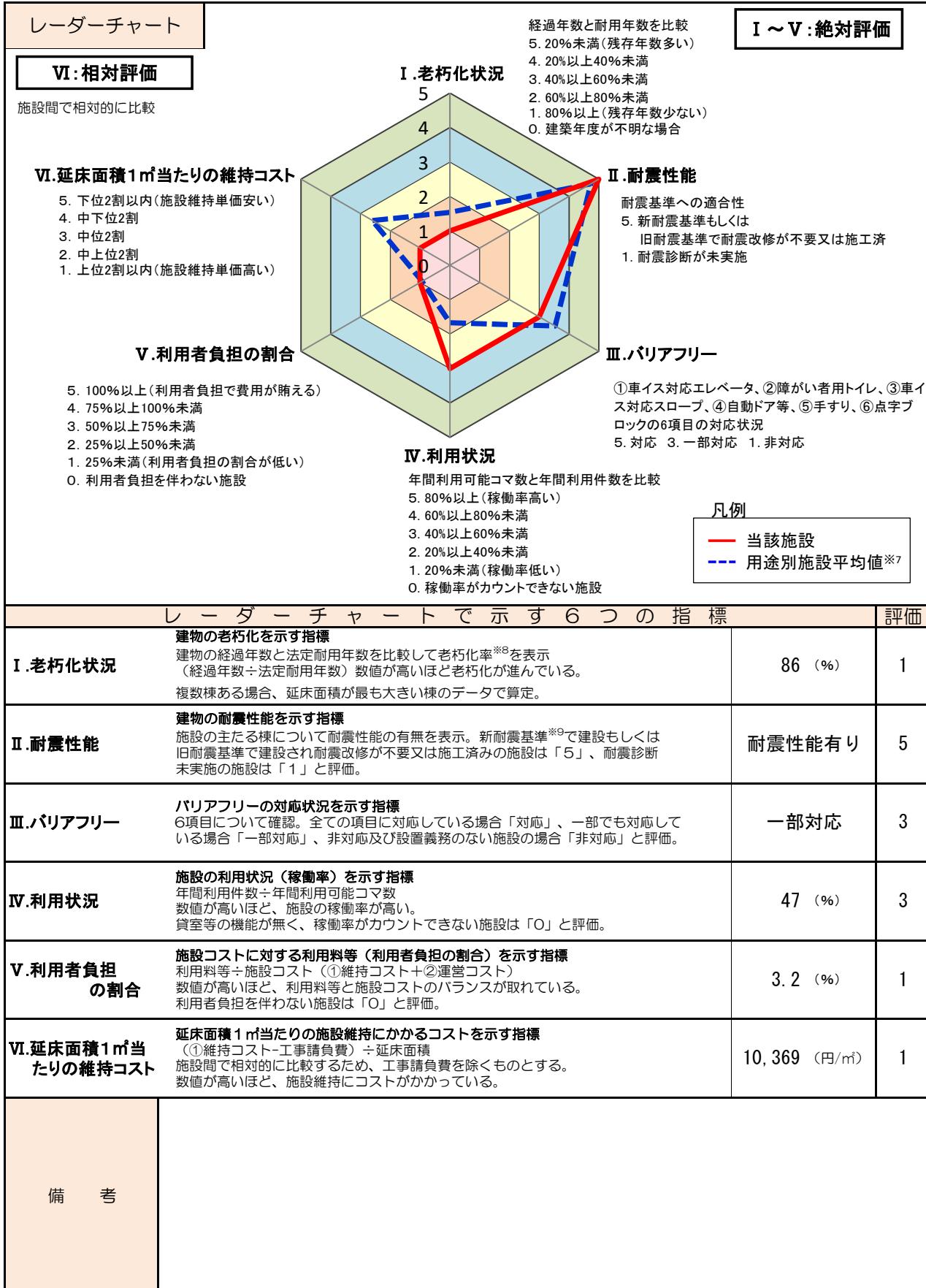
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	西端公民館		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	10
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	生涯学習課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 半崎町3丁目60番地 (西端小学校区)	敷地面積 うち借地面積	1,105 m ² 920 m ²
----------------	------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	西端公民館、倉庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和52年度	経過年数	48年	総取得費	22,081千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	358 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(随時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	4,748人	3,733人	6,249人	4,910人	直営
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	62,211	支出	人件費	723,772
	国費	-		修繕料	235,123
	県費	-		火災保険料	2,897
	その他	14,667		維持管理委託料	287,038
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	市費(一般財源)	12,990,258		敷地借上料	-
+ ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	合計	13,067,136		工事請負費	-
	施設外観			その他維持費	-
				小計	1,248,830
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		①維持コスト	人件費	10,132,803
	2,661円/人			光熱水費	623,293
	利用者1人当たりの負担額※5			その他委託料	675,338
	13円/人			その他運営費(事業費)	386,872
特記事項				小計	11,818,306
				合計(①+②)	13,067,136

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

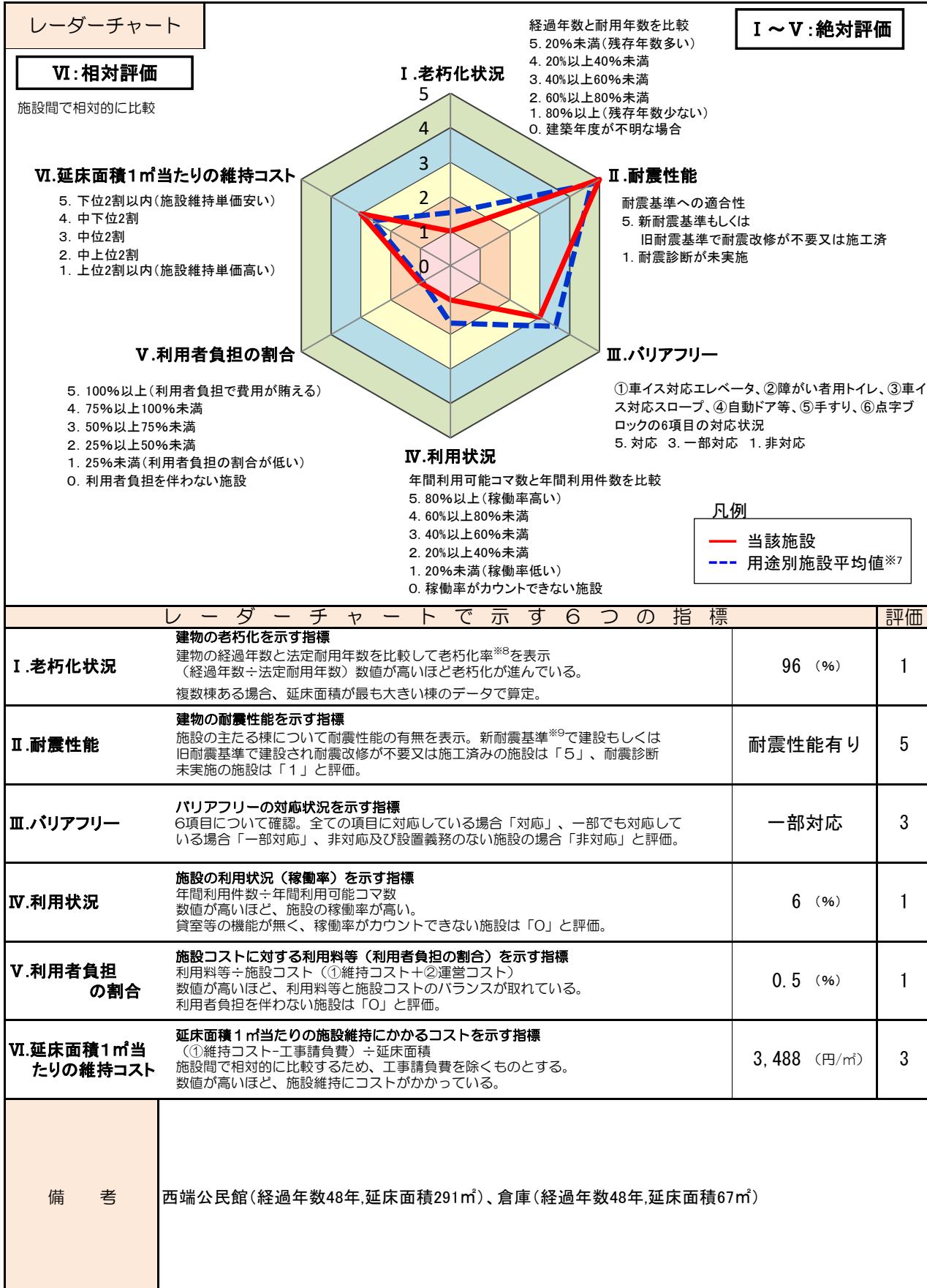
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数（固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数）で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準（マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている）のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	農業者コミュニティセンター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	11
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	農業水産課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 神田町2丁目6番地 (西端小学校区)	敷地面積 うち借地面積	6,970 m ² - m ²
----------------	-----------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	本棟、北部出張所、屋外便所、器具庫				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和60～昭和64年度	経過年数	36～40年	総取得費	180,952千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	1,223 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	46,395人	44,092人	47,559人	46,015人	直営	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	1,994,047 - - 4,603,768 9,234,059	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費 小計	- 1,183,366 59,017 1,998,216 - 4,495,443 - 7,736,042
②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	+ 施設外観 	合計	15,831,874	②運営コスト	人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費) 小計	3,618,859 1,941,469 1,539,390 996,114 8,095,832
ココスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		合計(①+②)	15,831,874
	344円/人		12,945円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	43円/人		128円/人			
特記事項						

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

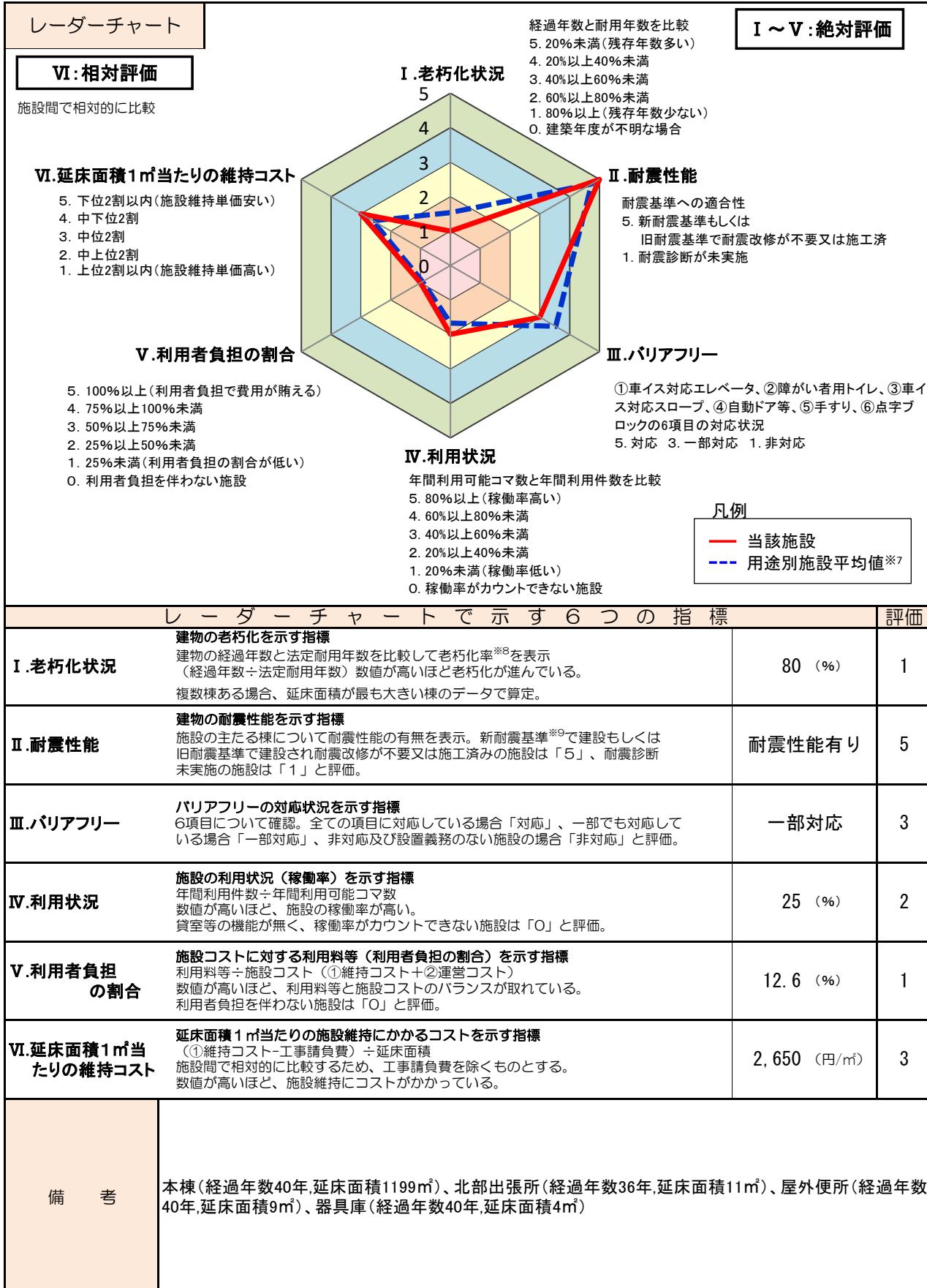
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	前浜集落センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	12
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	農業水産課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 前浜町1丁目80番地 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	768 m ² 768 m ²
----------------	------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新館、本館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56～昭和63年度	経過年数	37～44年	総取得費	54,793千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	585 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定避難所(事前一時)

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	1,925人	2,346人	2,552人	2,274人	指定管理(利用料金)
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	-	人件費	-	
	国費	-	修繕料	518,918	
	県費	-	火災保険料	-	
	その他	3	維持管理委託料	-	
	市費(一般財源)	1,476,367	敷地借上料	-	
	合計	1,476,370	工事請負費	-	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	支	その他維持費	-		
	施設外観		小計	518,918	
			①維持コスト		
			人件費	-	
			光熱水費	584,510	
			その他委託料	52,570	
			その他運営費(事業費)	320,372	
			小計	957,452	
			合計(①+②)	1,476,370	
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	649円/人		2,524円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	-円/人		20円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

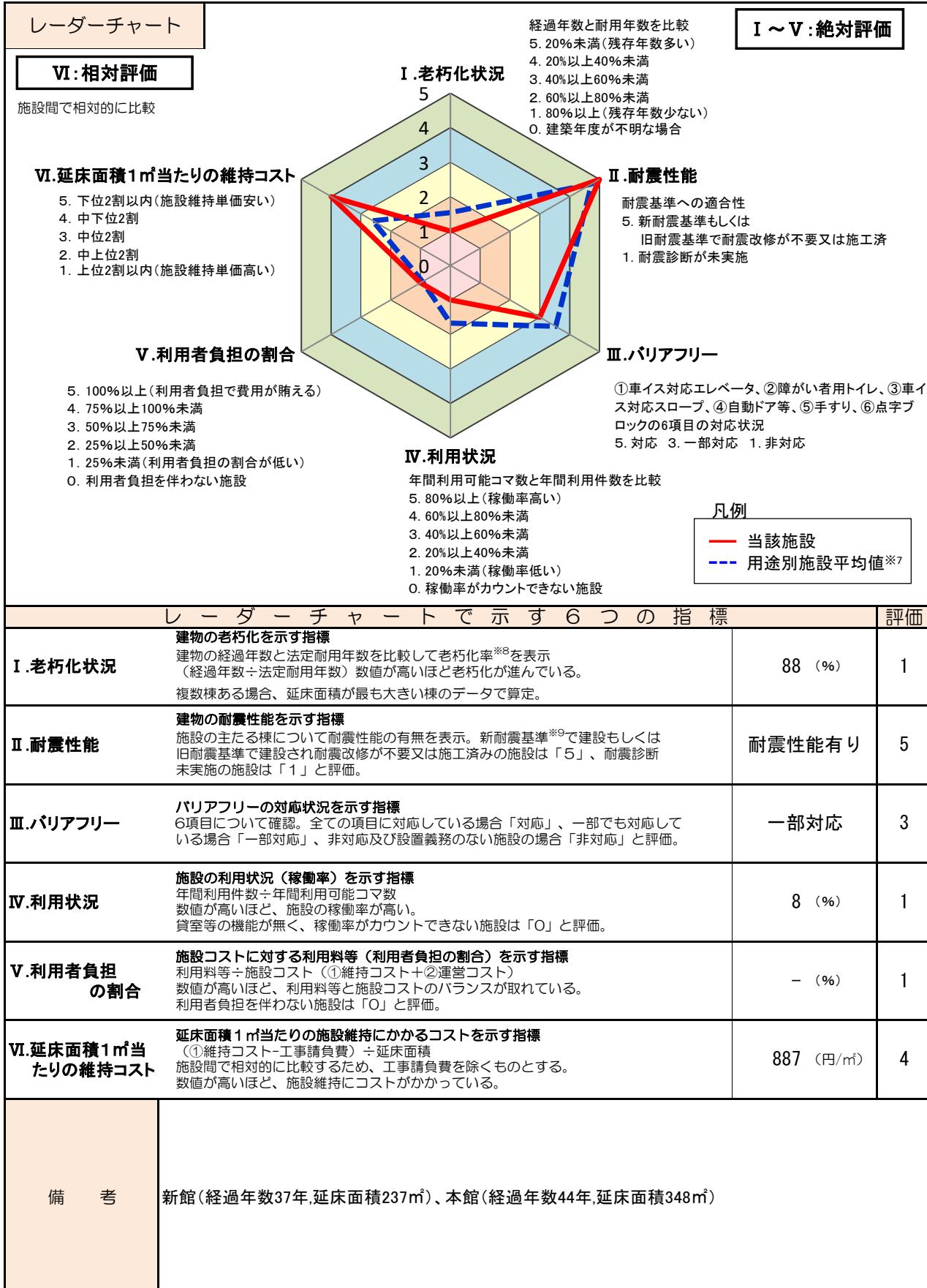
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	川口農業センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	13
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	農業水産課
------	-------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 川口町1丁目24番地2 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	412 m ² - m ²
----------------	-------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	川口農業センター				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和57年度	経過年数	43年	総取得費	52,480千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	272 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態
	703人	2,141人	1,813人	1,552人	指定管理(利用料金)
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
収入	利用料等	-	人件費	-	
	国費	-	修繕料	123,017	
	県費	-	火災保険料	-	
	その他	16,270	維持管理委託料	-	
	市費(一般財源)	880,047	敷地借上料	-	
	合計	896,317	工事請負費	-	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	支	その他維持費	-		
	施設外観		小計	123,017	
			②運営コスト	人件費	-
				光熱水費	415,112
				その他委託料	33,833
				その他運営費(事業費)	324,355
				小計	773,300
				合計(①+②)	896,317
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4		
	578円/人		3,295円/m ²		
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6		
	-円/人		12円/人		
特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

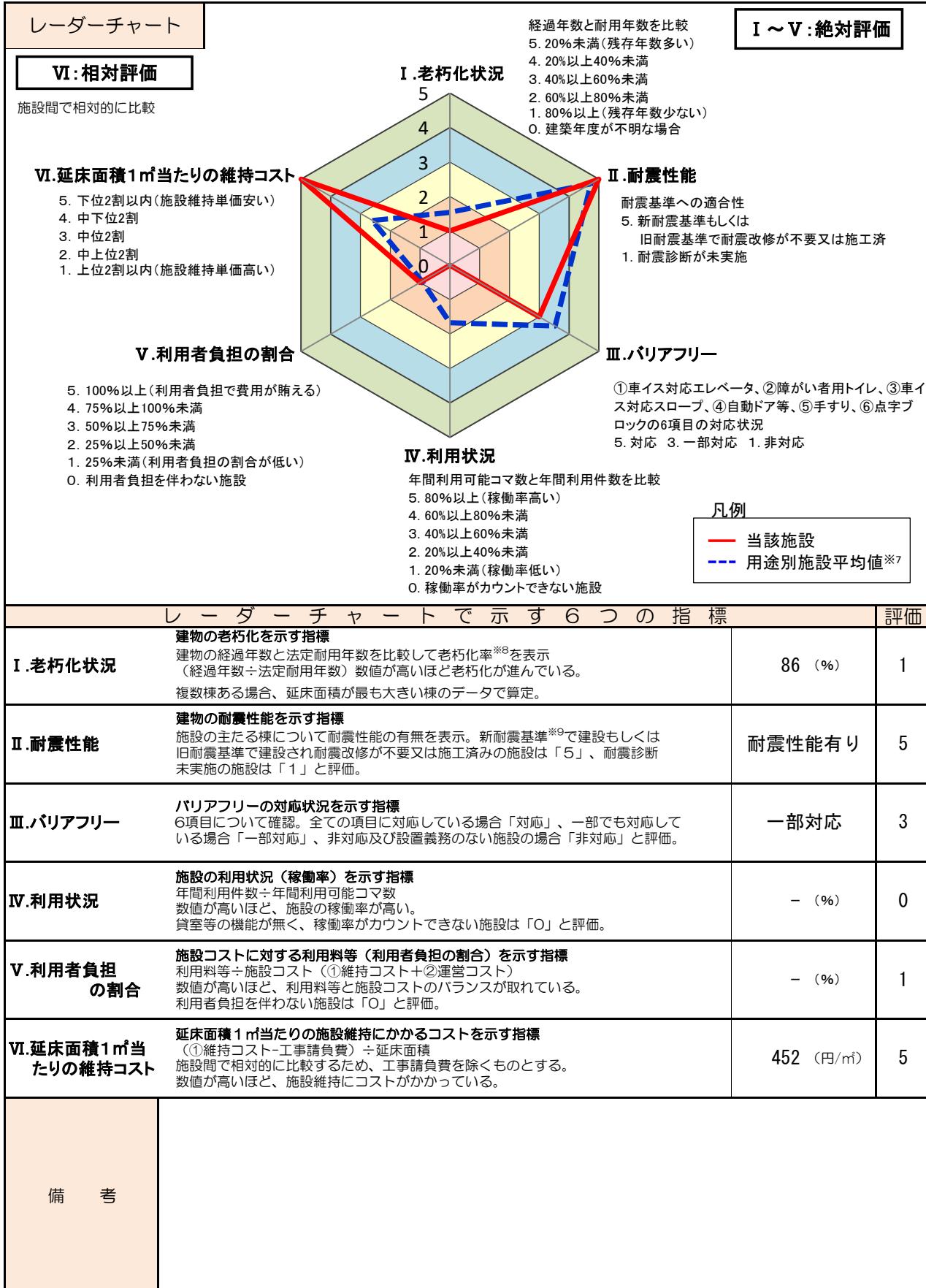
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	川口町集会場・憩いの家		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	14
-----	---------	-----	------	------	----

所管部局	財政課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 川口町1丁目24番地 (大浜小学校区)	敷地面積 うち借地面積	741 m ² - m ²
----------------	------------------------------	----------------	--

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	川口町集会場・憩いの家				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和35年度	経過年数	65年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造+木造	延床面積	331 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	人	人	人	-人	直営	
施設コスト※2 (R4～R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費	収入	利用料等 国費 県費 その他 市費(一般財源)	- - - - 2,115	支出	人件費 修繕料 火災保険料 維持管理委託料 敷地借上料 工事請負費 その他維持費 小計	2,115
②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	合計	2,115	支出	人件費 光熱水費 その他委託料 その他運営費(事業費) 小計	2,115
	施設外観			合計(①+②)		2,115
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4			
	-円/人		6円/m ²			
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6			
	-円/人		-円/人			
特記事項	昭和48年に開拓農協から譲渡された施設です。					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

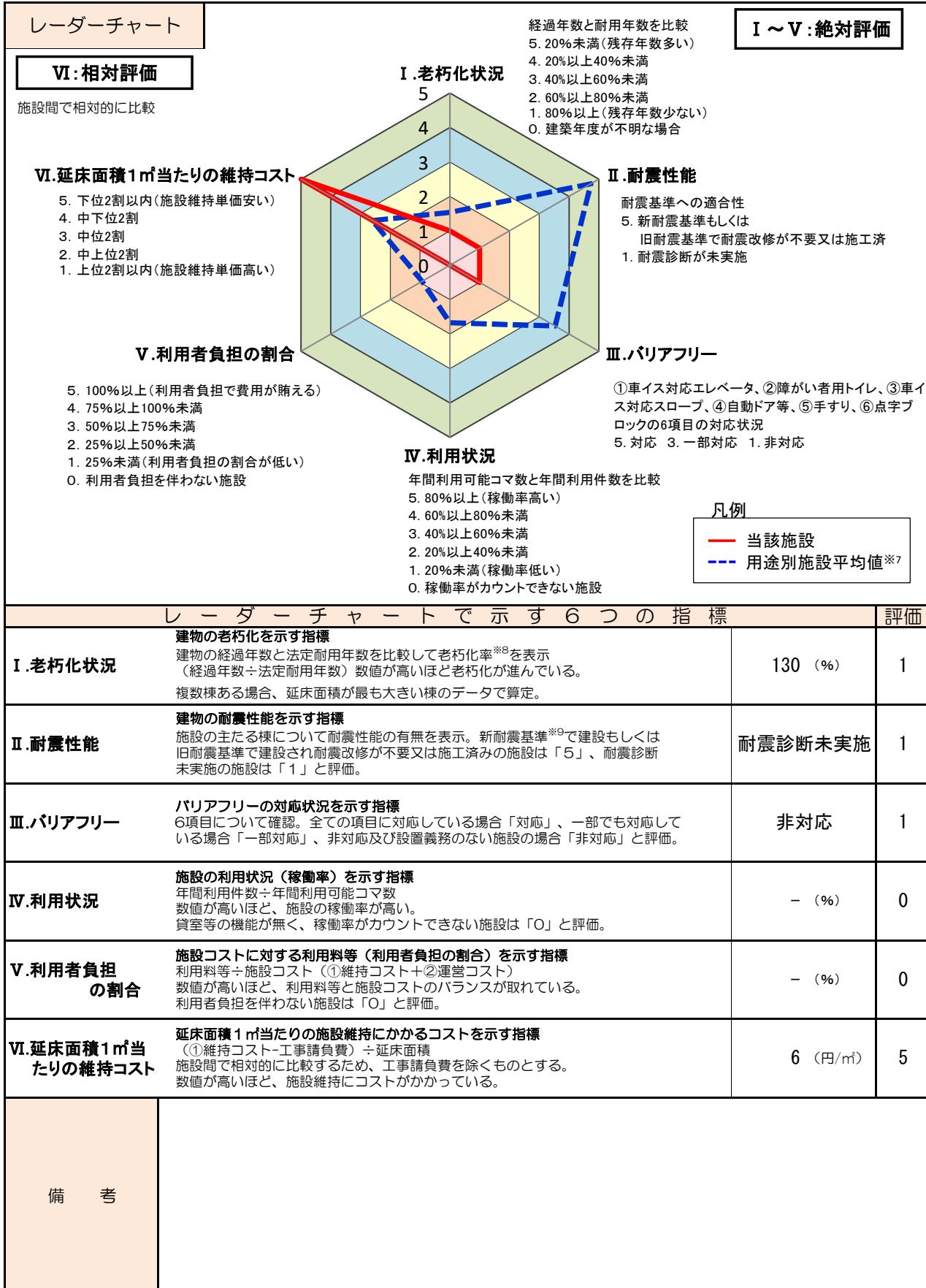
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度

令和7年度

施設名	市民活動センター					
従たる施設の場合、主たる施設名	へきなん福祉センターあいくる					
大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号		
				15		
所管部局	地域協働課					
1 土地データ						
所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地 (新川小学校区)	敷地面積	- m ²	うち借地面積	- m ²	
2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)						
構成棟	市民活動センター					
複合・併設施設	-					
建築年度	平成25年度	経過年数	12年	総取得費	- 千円	
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	214 m ²	うち借用面積	- m ²	
階数(地上)	-階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し	
3 管理運営データ						
利用状況 ^{※1}	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均利用者数	管理形態	
	6,174人	8,248人	11,752人	8,725人	指定管理(管理料)	
施設コスト ^{※2} (R4~R6年度) (ファシリティコスト)	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	274,780	支出	人件費	-
		国費	-		修繕料	-
		県費	-		火災保険料	-
		その他	-		維持管理委託料	-
		市費(一般財源)	18,078,705		敷地借上料	-
		合計	18,353,485		工事請負費	-
		施設外観			その他維持費	-
					小計	-
					①維持コスト	
①維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	利用料等	274,780	支出	人件費	-
		国費	-		修繕料	-
		県費	-		火災保険料	-
		その他	-		維持管理委託料	-
②運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)		
	収入	市費(一般財源)	18,078,705	支出	敷地借上料	-
		合計	18,353,485		工事請負費	-
		施設外観			その他維持費	-
					小計	-
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト ^{※3}		延床面積1m ² 当たりの施設コスト ^{※4}			
		2,104円/人		85,764円/m ²		
		利用者1人当たりの負担額 ^{※5}		市費に対する住民1人当たりの負担相当額 ^{※6}		
		31円/人		251円/人		
	特記事項					

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。
市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

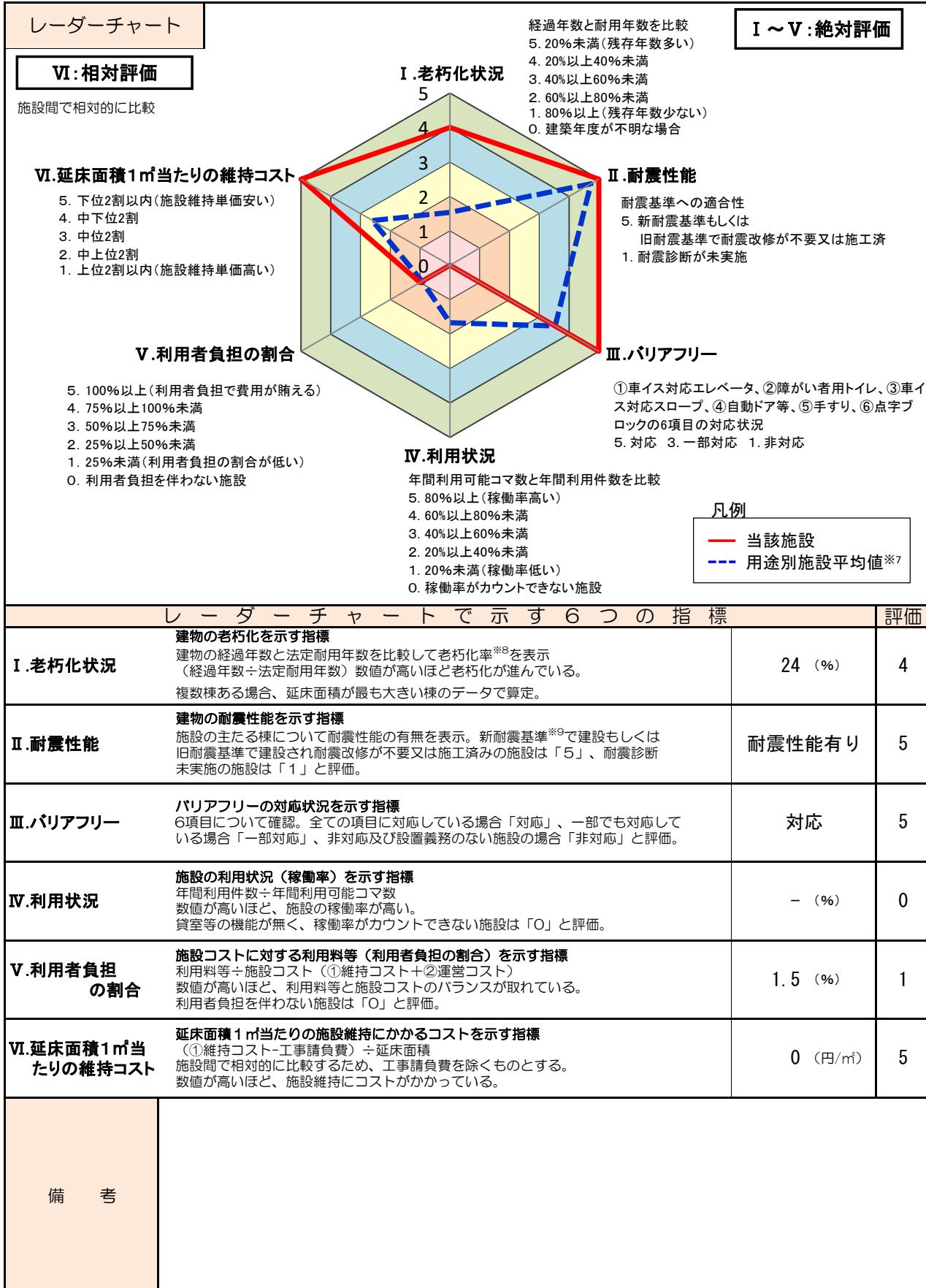
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) ÷ 延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等 ÷ 平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源) ÷ 人口(令和7年4月1日現在の72,111人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されて
いる)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。